

総務委員会報告 —新たな飛躍を目指して！—

四国本部総務委員会
委員長 栗本 好正



1. はじめに

早いもので四国本部が誕生して3周年になります。今年度から新たな地域組織の運営が始まりますが、これまでの経験を活かしながら更なる飛躍を目指します。

2. 主な活動足跡

【1年目】

- ・H22. 4. 1 : 四国本部設立 (当初は“四国支部”)
- ・H22. 4. 24 : 第二次試験合格者祝賀会 (高松市)
- ・H22. 6. 3 : 設立総会・記念式典の開催 (高松市)
- ・H22. 12. 3~4 : 徳島例会・忘年会・見学会
- ・H23. 2. 5 : 第一次試験合格者歓迎会 (高松市)
- ・CPDセミナー : 3回
- ・修習技術者セミナー : 3回
- ・建設フェアへの出展
- ・防災パネル展示、防災・減災活動の紹介
- ・四国本部会報の創刊
- ・四国本部ホームページの開設

【2年目】

- ・H23. 6. 11 : 定時総会・設立1周年記念講演会の開催 (徳島市)
- ・H23. 4~6 : 第二次試験合格者祝賀会 (各県会場)
- ・H23. 11. 18 : 地域産学官と技術士との合同セミナー (中国本部・四国本部設立1周年記念)の共催 (広島市)
- ・H23. 11. 25~26 : 高知例会・忘年会・見学会
- ・H24. 1. 28 : 第一次試験合格者歓迎会 (徳島市)
- ・CPDセミナー・公開講座 : 5回
- ・修習技術者セミナー : 3回
- ・防災講演会 : 2回、防災見学会 : 1回
- ・東日本大震災に関する現地調査 : H23. 10

【3年目】

- ・H24. 6. 16 : 定時総会の開催 (高知市)
- ・H24. 4~6 : 第二次試験合格者祝賀会 (各県会場)
- ・H24. 8. 31 : 技術士CPD説明会 (高松市)
- ・H24. 11. 10 : 地域産学官と技術士との合同セミナー (高松市)
- ・H24. 11. 30~12. 1 : 愛媛例会・忘年会・見学会
- ・H25. 2. 9 : 第一次試験合格者祝賀会 (高知市)
- ・CPDセミナー・公開講座 : 8回
- ・修習技術者セミナー : 4回
- ・東日本大震災に関する取り組み報告の取りまとめ・ホームページ (会員コーナー) 掲載

【CPD行事实績】

1年目	2年目	3年目
8回、16.8h (うち自前事業 12.3h)	21回、54.5h (うち自前事業 30.7h)	23回、76.2h (うち自前事業 37.2h)

3. 四国本部の紹介

3周年を機に改めて、四国本部の概要紹介をさせていただきます。

3.1 会員数 (平成25年5月末現在)

	正会員	準会員	合計
徳島県	79	17	96
香川県	159	26	185
愛媛県	66	22	88
高知県	49	10	59
四国計	353	75	428
全国	14,159	3,699	17,858

※全国：統括本部データ (H25. 3 末現在)

※船舶・海洋・航空・宇宙、繊維及び水産の4部門は会員数が0名

3.2 四国本部ビジョン

科学技術の専門家集団として、四国地域特有の社会・自然・環境条件に対応した、安全・安心で心やすらぐ地域を創造するとともに、四国地域の活性化に向けて、地域組織と連携し、4県の特性を生かした社会貢献活動を行う。

(キーワード：自立・交流・変化)

《事業方針》

○四国地域特有の自然災害に対して、関係機関と連携し、専門技術を活かし、防災・減災に向けた活動を行う。

○将来の道州制を見据え、四国地域の活性化に向けて、地域の特長を活かし、4県が一つとなった活動(四【土】国88品)を行う。

○社会に開かれた技術集団として、社会への貢献活動を通じ、技術士が認知され、以って社会的地位の向上を目指す。

○技術士の技術向上と継続研鑽(CPD)活動を行い、技術士の資質の向上を図る。

○上記の活動においては、熟年技術者(シニアエンジニア)を活用するとともに、併せて若手技術者の育成を行う。

3.3 組織

総務、事業、広報、試験、修習技術者支援、防災、青年技術士交流の7つの常設委員会が中心となり、各県技術士会等とも緊密に連携を図りながら、各種のCPD活動や社会貢献活動を実施します。

3.4 平成25年度の主な活動内容

- ①年次大会：7月13日／松山市
- ②例会・忘年会・見学会：12月／高松市
- ③第二次試験合格者祝賀会：各県会場
- ④第一次試験合格者祝賀会：松山市
- ⑤CPDセミナー・公開講座：8回(各県2回)
- ⑥修習技術者セミナー：4回(各県1回)
- ⑦青年技術士交流会：4回(各県1回)
- ⑧防災講演会：2回、防災見学会：1回
- ⑨四国本部会報の発行(7月、12月)
- ⑩西日本技術士研究・業績発表年次大会：10月25～26日／高知市

★平成26年度の第44回日韓技術士会議(四国・松山)の開催に向け準備・検討を行う。

3.5 会員の特典・メリット

◎異分野、異業種、同業別会社の技術士との交流ができ、自分の生きる世界が広がり、充実する。

- 部会活動 ●登録グループ(約50)活動
- 委員会活動 ●地域本部活動など

◎有益な情報を得ることができる。

- 月刊「技術士」：毎月発行 ●四国本部会報：年2回発行 ●会員ホームページ
- 内外の技術士業務情報など

◎継続研鑽(CPD)、修習が容易にできる。

◎CPD認定会員になることができる。

【諸手数料(WEB登録の場合)】

項目	会員区分	手数料
技術士CPD登録	会員	無料
	非会員	5,000円/年度
CPD登録確認書	会員	1,000円/回(注1)
	非会員	5,000円/回(注2)
CPD認定会員	会員	3,000円/回
CPD登録技術士	非会員	10,000円/回
CPD登録証明書	会員	1,000円/回
	非会員	5,000円/回

(注1) CPD記録シートを添付する場合は、500円/回が必要

(注2) " 2,000円/回が必要

◎四国本部が主催する各種のCPD行事に割安で参加できる。---参加費：原則1,000円(非会員は2,000円)

4. おわりに

未入会の技術士諸氏におかれましては、是非この機会に日本技術士会に入会してください。会員メリットを享受すると共に、社会貢献活動を通じ四国地域の活性化に寄与するため一緒に活動しましょう。今後とも公益社団法人としてふさわしい運営・活動に心がけますので、ご支援・ご協力をお願い致します。